

サークル紹介

アゴラ企画室

環境問題を考えよう



文・高木 啓

教育学部2年

フォークソング同好会

音楽を楽しむ心



代表 村上一真

経済学部3年

現在私たちは、オゾン層破壊や地球温暖化などさまざまな環境問題を抱えています。皆さんも少なからず関心をお持ちのこととは思いますが。しかし、個人でできることはどうしても限られてしまいます。

この総合環境サークル「アゴラ企画室」は、そのような環境問題に関心のある個人の集まりです。個人は研究室でそれぞれの分野の研究をしたり、勉強したりしています。

そこでこのサークルでは、それぞれの視点から、環境問題というテーマで情報交換したり、活動に結びつけたりして、再び個人の研究・学習に反映させています。

アゴラ企画室の活動範囲は広島大学の中だけにとどまりません。アゴラ企画室そのものは広島大学の中での集まりですが、月に一度、広島県レベルの集まり「楽還ねつとわーく」、年に三回、全国レベルの集まり「ギヤザリング(エコ・リーグ主催)」があります。これらによって、広島県を始めとした全国の情報が共有でき、また、全国に友人ができるわけです。

エコ・リーグとは、日本初の青年による環境グループ

の連盟です。その主な活動としては「きゃんぱす・えころじー(自分たちのもつとも身近である大学を環境に優しいものにしていく活動)」、「グリーンコンシューマー(地球に優しい商品の開発・調査)」、「アースピースウェーブ(「地球の安らぎ」をテーマとした平和・環境問題を扱うイベント企画)」、「OPM(オゾン層破壊を軽減するためのフロンガス回収運動)」の四つが挙げられます。

アゴラ企画室の最近の活動としては、学内を流れる角脇川の水辺環境を改善する生物生産学部・工学部などの教官を中心として構成されている水辺環境グループに参加したり、青年会議所主催の企画に協力するなど、地域に密着した活動も行っています。

また、今後の予定としては、卒業生などからまだ使える不用品を引き取り、新入生・在学生に提供する「リサイクル市」を来春に計画しています。ご協力よろしくお願いたします。

※アゴラ企画室は文団連に所属し、特定の宗教・政治団体を支持しません。(たかき・あきら)

フォークソング同好会。皆、音楽が好きで集まってくる。だから「同好会」である。そして同時に、「クラブ」でもある。

私たちフォークソング同好会で重要なのは、諸バンドの活動ではなく、「フォークソング同好会」という一団体としての活動だ。ことに、コンサートづくりとそれに対する姿勢が、私たちの中で重要視される。とにかく、できるところまで自分たちでつくるというのが、私たちのコンセプトだ。

舞台の基礎作りから、プロの手を借りながら、自分たちの手で作っていく。そしてそれに対して、一人ひとりが同じだけの責任を背負っている。

私たちはそうすることで、初めて個々人ーバンドが輝くと、音楽を楽しめるーつまり「同好会」になれると信じているから。

今、私たちは、冬の定期演奏会に向けて、忙しい毎日を送っている。見に来てくださる方々には、「音楽」だけでなく「フォークソング同好会」を感じ取っていただければ、と思う。(むらかみ・かずま)